

編集後記

- ◇ 本誌168号では、本年3月11日に日比谷コンベンションホールで開催した「令和7年度いも類講演会」を特集した。当日、サツマイモではより一層の輸出振興、ジャガイモでは青果用や加工食品用での新品種の開発・普及という切り口で7名の方から講演いただいたが、その中から研究機関と生産現場の一体的な取組みに着目して構成している。
- ◇ おいも探訪のコーナーでは、昨年の11月に沖縄県嘉手納町で開催された野國總管甘藷伝来420年記念事業の一環として発刊された「まんが野國總管ものがたり～おいもさんがつないだ命の歴史～」の概要を紹介いただいた。先人の遺徳を息長く着実に伝承していくための素晴らしい内容となっており、今後、より広く公開・活用されることを期待している。
- ◇ 4月末にはNHKのテレビ番組、新プロジェクトXで「焼き芋世界に羽ばたく」が放映された。420年前、野國總管により中国から我が国に伝わったサツマイモは、今や北限の北海道まで普及する一方で、「焼き芋」というアイテムで海外にも輸出が急増している。本誌166号で野國總管甘藷功労賞の受賞者として紹介した茨城県の元JAなめがたしおさい組合長の棚谷氏を中心に、関係者の努力の一端を鮮明に切り取った素晴らしい内容であった。
- ◇ 温暖化が進むにつれ、四季の移ろいを楽しむことが難しくなったように感じる。自宅の庭では自然薯が昨年より10日以上早く萌芽し、早々に支柱を組むハメになった。5月半ばには2階のベランダに到達。盛んに葉を茂らせて緑のカーテンが完成している。庭の片隅では3年連続でコンニャク芋が開花し、仏炎苞と呼ばれる独特の形を楽しむことができた。
- ◇ 近隣の畑ではジャガイモ「とうや」の白い花が咲き誇っており、庭先販売も始まっているらしい。我が家の菜園でも2月半ばに早期培土方式で数品種の種芋を植えたが、すでに早生の「とうや」や「キタアカリ」は枯凋しており、今後の収穫を楽しみにしている。

(矢野哲男)

いも類振興情報 第168号
2026(令和8)年7月15日発行

定価 1部 500円
年間購読料(季刊) 2,000円

発行 一般財団法人 いも類振興会
〒107-0052 東京都港区赤坂6-10-41 ヴィップ赤坂303
TEL 03-3588-1040 FAX 03-3588-1225
E-mail: jrta@imoshin.or.jp
郵便振替 00130-1-110152

印刷 株式会社丸井工文社